

関係機関の長 殿

東北大学大学院農学研究科長
北澤 春樹

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本研究科附属放射光生命農学センター 准教授候補者について、下記のとおり公募を行うことになりました。

つきましては、貴機関の関係者に周知方、ご高配くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集人員 准教授 1人
2. 組織名 放射光生命農学センター
3. 応募資格（選考方針）

- (1) 人格が高潔で博士の学位を有し、学生に対する教育・研究指導を適切に行える人
- (2) ライフサイエンス領域での放射光利用に関する経験と優れた研究業績を有し、国際的な活躍と社会貢献が期待できる人
- (3) 放射光生命農学センターが取り組む農学・生命科学領域での放射光利用の推進が期待できる人
- (4) 3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu を活用した分野横断型の学際的なプロジェクトを先導すると共に、農学研究科全体の研究強化、産学連携、地域連携、人材育成に大きな貢献が見込まれる人
- (5) 協調性があり、学内の運営に積極的に参画できる人

4. 主な研究領域

生物化学、農芸化学、量子ビーム科学

5. 主な担当授業科目

- (1) 大学院

農芸化学専攻生物化学講座を兼務し、講座教員との協議に基づき、関連大学院授業を担当する。

- (2) 学部

応用生物化学科生物化学コースを兼務し、コース教員との協議に基づき、関連学部授業を担当する。

6. 採用予定年月日 令和8年2月1日

7. 提出書類（全てA4判縦とし、横書き）

- (1) 履歴書（所定様式）（写真貼付、電子メールアドレスを明記）
- (2) 研究業績概要（1,000 字程度）
- (3) 研究業績一覧（主要論文5編以内に○印を付ける。）：原著論文（英文と和文に分け、査読の有無を記載し、コレスポンディングオーサーになっている論文に＊印を付ける。全ての論文に最新のインパクトファクター（2-year Impact Factor）を記入のこと。）、学位論文、著書、総説、受賞、その他の項目に分類して記載
- (4) 教育業績
- (5) 教育・研究に関する抱負（1,000 字程度）
- (6) 各種研究費採択状況、学会等の活動歴、国際会議講演（招待講演に＊印を付ける）及び その他選考方針に関連する資料等の一覧
- (7) 応募者の照会が可能な方の氏名と連絡先2名（本人の許諾を得た上で記載ください）
- (8) 上記（3）で○印を付けた主要論文5編以内のPDF ファイル

(9) (1)～(8)を一つのPDFファイルにまとめて、メールの添付書類（パスワードを付したもの）としてお送りください。メールの件名は「教員応募（東北大学大学院農学研究科）」としてください。

応募書類の提出後5日経過しても応募書類を受け付けた旨の返信がない場合は、お問い合わせください。

8. 選考方法

書類選考および必要に応じて面接を行う。

なお、面接を受けていただく場合の費用（旅費等）は自己負担となります。

選考結果はメールでお知らせします。

9. 公募締切 令和7年8月11日（月）必着

10. 応募書類の提出先及び問い合わせ先

東北大学大学院農学研究科附属放射光生命農学センター准教授選考委員会委員長 原田昌彦

E-mail: masahiko.harata.b6@tohoku.ac.jp (*は@に変えてください)

11. その他

・東北大学は多様性、公正性、包摂性（Diversity, Equity & Inclusion : DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

・学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting_for_minority/

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員22名）及び青葉山みどり保育園（定員116名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員120名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。

また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記URLをご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting_for_family/

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>

・本研究科に関する詳細は、<http://www.agri.tohoku.ac.jp/index-j.html> をご覧下さい。

なお、放射光生命農学センターの現在の教員構成は、次の下記のHPを参照ください。

放射光生命農学センターWEB ページ

https://www.agri.tohoku.ac.jp/jp/center/agri_a-sync/

以上